

これからの都市交通施策の方向性

～「拠点」と「軸」でアチコチお出かけを促進～

都市交通施策の再整理に関する検討会 | 中間とりまとめ (概要)

令和8年7月

1 | 背景

- 若者を中心とした外出率の低下
- 政策理念と計画・事業の乖離 等

まちがイエに“負ける”社会

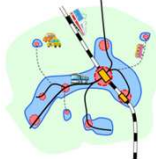


2 | 目指す都市の姿

気軽にアチコチお出かけ
したくなる・できる街



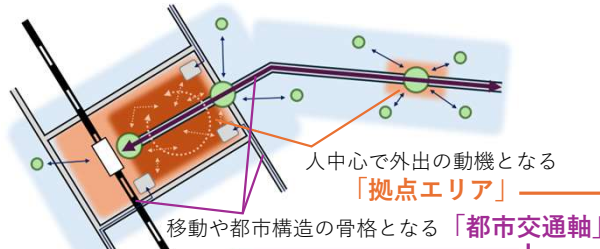
イエに負けない
人を集める拠点



拠点への
出かけやすさ

実現に向けて

まちづくりと一体となった都市交通計画の充実



単に
「集まる」
場所
↓
「時を過ごす」
拠点

単なる
ネットワーク軸

多様な交通手段による
拠点へのアクセス軸

3 | まちづくりと一体となった都市交通計画の充実

まちづくり施策と都市交通が
一体となった包括的計画

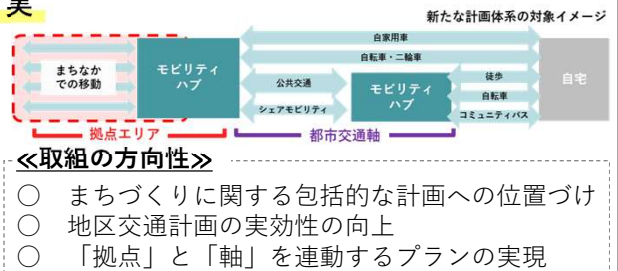
密接に連動

包括的計画の実効性を高める
都市交通に関する計画

政策目標の
実現力の強化

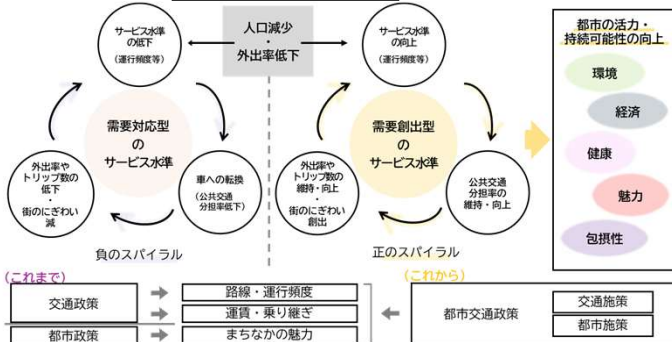
需要創出型の計画
横断的モビリティ計画

- バックキャスト型の目標
- 都市の包括的目標への寄与



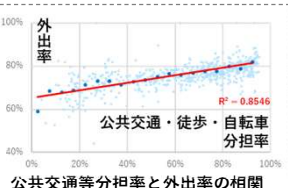
4 | 都市交通軸の強化

- 都市交通軸を担う公共交通は、都市政策と密接な連携のもと「需要対応型」から「需要創出型」へ発想を転換し「正のスパイラル」を創出



《取組の方向性》

- サービス水準の向上
 - 運行頻度、定時性・速達性 等
- 公共交通の需要創出
 - 居住誘導、運賃・乗り継ぎ 等
- モノも含めた移動環境構築
 - 物流まちづくり



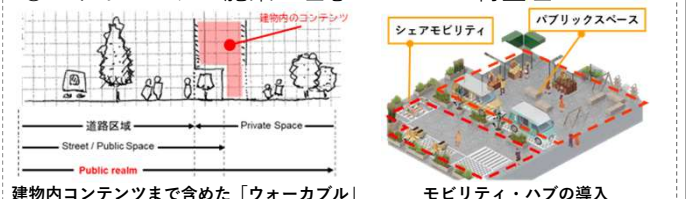
5 | 拠点エリアの魅力や快適性の向上

- 様々な交通モードが適正に処理された人中心で魅力ある都市空間を多様な主体と連携し創出



《取組の方向性》

- 自動車交通の適正な処理
- 多様な主体との連携
- アクセシビリティ・回遊性・プレイス性の向上
- ウォーカブル施策の理念レベルでの再整理



6 | さらなる検討事項

- 都市政策と交通政策の実効的な連動強化や各地域への施策展開を図るための方策
- 「拠点」と「軸」の強化を一体的に進めるための事業制度等の改善・充実の方策
- 自動運転等の進展を見据えた中長期的な視座に立った都市交通施策のあり方 等